

第 21 章 西台遺跡の調査

I 遺跡の立地と環境

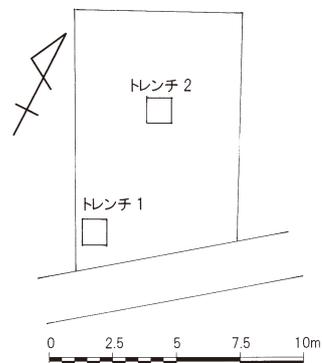
西台遺跡は、東武東上線ふじみ野駅の南西約 1.5km、砂川堀の右岸で標高 26～30 m の台地上に位置する。砂川堀は狭山丘陵外縁に湧水を成し、武蔵野台地上を南西から北東に流れて新河岸川に合流する。東台遺跡同様砂川堀との比高差は約 7～8 m で急崖をなし、左岸は緩やかな傾斜を成す。遺跡の範囲は東西 340 m、南北 110 m、遺跡面積約 50,000 m² である。

周辺の遺跡は、砂川堀の対岸に縄文時代の遺跡である小田久保遺跡、同一崖線上の下流へ向かって大井戸上遺跡、東台遺跡と続く。

本遺跡は 1992 年の初調査以来、2012 年 12 月現在 8 地点で試掘調査が行われている。1994 年に行った第 2 地点の試掘調査では旧石器時代の礫群と石器群を広範囲に確認した。また、第 3 地点では木炭窯を検出し、東台遺跡との関連が注目される。

より 2011 年 5 月 30 日付けで「埋蔵文化財事前協議書」がふじみ野市教育委員会に提出された。

申請地は遺跡の範囲内に位置する。申請者と協議の結果、遺構の存在を確認するために試掘調査を実施した。試掘調査は 5 月 31 日、1×1 m のトレンチ 2ヶ所を設定し、人力による表土除去後、表面精査を行った。ローム質の表土層は 10～30 cm と浅く、斜面地であることから、地山ローム層を削平している可能性が高い。遺構・遺物は確認されなかったため、写真撮影・全測図作成等記録保存を行ったうえ埋め戻し、調査を終了した。なお旧石器時代の確認調査は行っていない。



II 西台遺跡第 8 地点

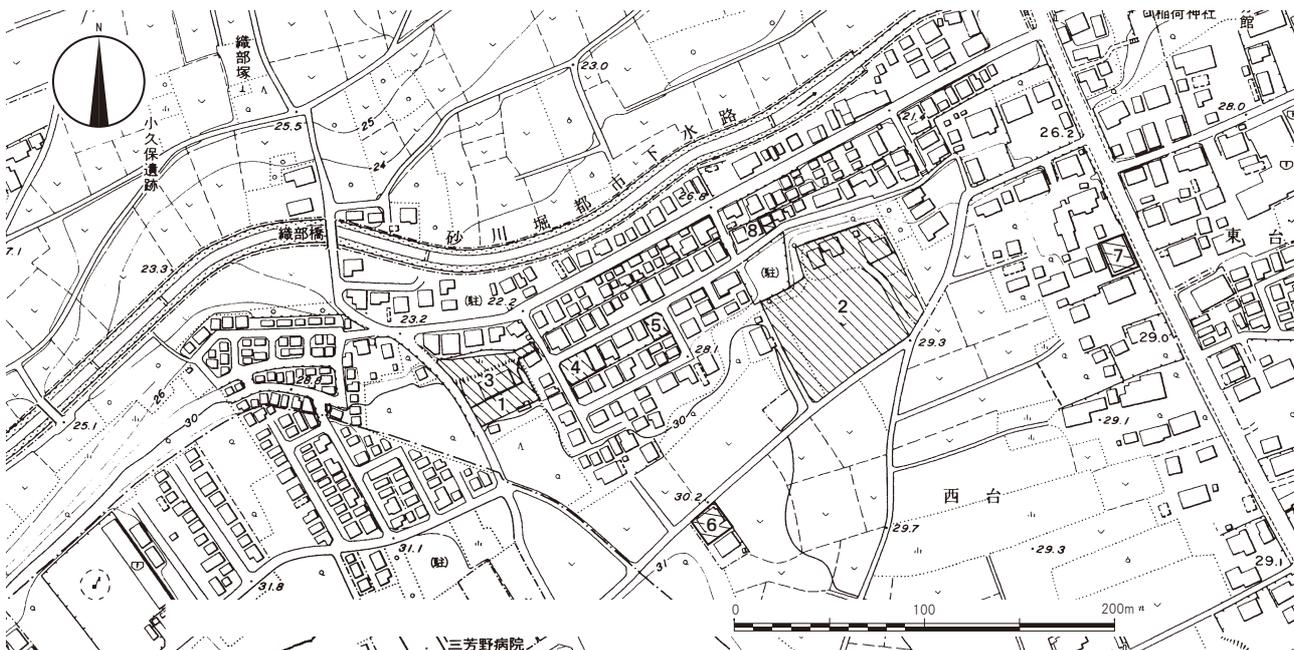
(1) 調査の概要

調査は店舗兼用個人住宅建設に伴うもので、原因者

第 37 表 西台遺跡調査一覧表

地点	所在地	調査期間()は試掘調査	面積(m ²)	調査原因	確認された遺構と遺物	所収報告書
1	大井894-2	(1991.7.24～25)	1,600	資材置場	遺構遺物なし	町 I
2	大井897-1・2	(1994.4.4～12)	6,149	遊楽場建設	旧石器時代礫群、縄文時代集石土坑	町IV
3	大井字西台925-1	(2003.6.16～30)	1,37	個人住宅	木炭窯1、ピット他	町XII
	大井字西台925-2・9		144	個人住宅	遺構遺物なし	
4	大井字西台925-10・13	(2004.1.15～16)	141	個人住宅	遺構遺物なし	町XII
	大井字西台894-14、911-56		164	個人住宅	遺構遺物なし	
5	大井字西台911-51	(2004. 6.17)	139	個人住宅	ピット状の遺構確認	町XII
6	大井字西台891-5	(2005.6.24～28)	68(28.3)	分譲住宅	遺構遺物なし	市2
7	大井字西台854-16の一部	(2009.3.5)	7(246.2)	個人住宅兼店舗	遺構遺物なし	市8
8	大井字西台909-5	(2012.5.31)	65.3	個人住宅	遺構遺物なし	市14

※町：大井町町内遺跡群、市：ふじみ野市市内遺跡群

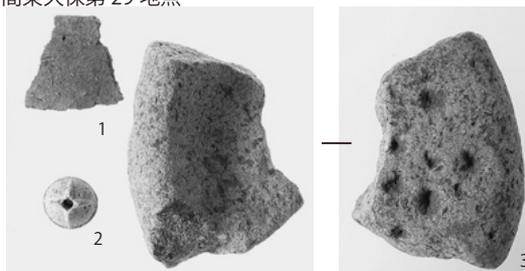


第 82 図 西台遺跡の地形と調査区 (1/4,000)、第 8 地点調査区域図 (1/300)



苗間東久保遺跡第 30 地点トレンチ 6

苗間東久保第 29 地点



苗間東久保第 30 地点



苗間東久保遺跡第 29・30 地点遺構外出土遺物



浄禅寺跡遺跡第 25 地点調査風景



浄禅寺跡遺跡第 25 地点調査風景



浄禅寺跡遺跡第 34 地点調査風景



浄禅寺跡遺跡第 34 地点トレンチ 2



西台遺跡第 8 地点調査風景



西台遺跡第 8 地点調査風景